



# 略歴



UNITED STATES AIR FORCE

## COLONEL JULIE M. GAULIN

ジュリー・M・ガウリン 大佐

ジュリー・M・ガウリン大佐は、横田基地第374空輸航空団の副司令官を務める。大佐は太平洋地域における唯一の空輸航空団の司令官を、管理、訓練および指揮統制面において補佐する。横田基地は西太平洋の空輸拠点として、米国の前方展開と危機対応を保障するために、即応態勢の整った部隊及び基地運用支援を提供している。

ガウリン大佐は、1998年5月にオクラホマ大学の予備役将校訓練隊を経て入隊。在欧アメリカ空軍アフリカにて航空教育訓練司令部のスタッフ、在日米軍兼第5空軍司令官の副官を歴任したほか、第374運用支援中隊司令を務めた経歴を持つ。前職は、北大西洋条約機構(NATO)軍事委員会の米国代表のペンタゴン連絡官および NATO 最高連合司令部変革本部の米国連絡官代表。

ガウリン大佐は、C-130E/H および C-12J で2,700時間以上の飛行時間を持ち、うち750時間以上の戦闘作戦および戦闘作戦支援経験を持つコマンドパイロットである。



### 学歴

- 1998年 オクラホマ州ノーマン、オクラホマ大学 心理学部 学士号
- 2004年 アラバマ州マックスウェル、マックスウェル空軍基地 中隊長士官学校
- 2009年 西バージニア州チャールズタウン、アメリカン・ミリタリー大学 軍事学修士号
- 2010年 アラバマ州マックスウェル空軍基地 空軍指揮幕僚大学(通信教育)
- 2011年 アラバマ州マックスウェル空軍基地 空軍指揮幕僚大学 軍事作戦修士号
- 2014年 アラバマ州マックスウェル空軍基地 空軍戦争大学(通信教育)
- 2019年 ワイントンD. C. フォートマックネイヤー、国防大学 国家安全保障戦略修士号

### 職歴

- 1998年7月-1999年1月 アーカンソー州リトルロック空軍基地 第50空輸中隊臨時任用
- 1999年1月-2000年3月 テキサス州ラフリン空軍基地 専門学部操縦士訓練生
- 2000年3月-2003年12月 アーカンソー州リトルロック空軍基地第61空輸中隊 C-130E 航空機司令官、訓練および機動担当官
- 2003年12月-2007年6月 横田基地第374空輸航空団第36空輸中隊小隊長兼 C-130 グループ標準化・評価主任、C-130E/H 教官/ 評価操縦士

5. 2007年 6月－2010年 6月 アーカンソー州リトルロック空軍基地第314運用群先任副官統括兼第62空輸中隊運用副主任、C-130E/H FTU 教官・評価操縦士
6. 2010年 6月－2011年 6月 アラバマ州マックスウェル空軍基地空軍指揮幕僚大学学生
7. 2011年 6月－2012年 5月 アラバマ州マックスウェル空軍基地上級指揮幕僚課程統合作戦計画コース副責任者
8. 2012年 5月－2014年 5月 ドイツ・ラムスタイン基地 在欧アメリカ空軍アフリカ、A3作戦および訓練支部長
9. 2014年 5月－2016年 1月 横田基地 第374運用支援中隊運用部長
10. 2016年 1月－2017年 7月 横田基地 第374運用支援中隊司令
11. 2017年 7月－2018年 8月 横田基地 在日米軍兼第5空軍司令官付副官
12. 2018年 8月－2019年 6月 ワシントンD. C. フォートマックネイヤー、国防大学学生
13. 2019年 6月－2021年 6月 北大西洋条約機構(NATO)軍事委員会米国代表ペンタゴン連絡官およびバージニア州ノーフォーク NATO 最高連合同司令部変革本部の米国連絡官代表
14. 2021年 6月－現在 横田基地および第374空輸航空団副司令官

### 統合任務経歴

2019年 6月－2021年 6月 北大西洋条約機構(NATO)軍事委員会米国代表ペンタゴン連絡官および最高連合同司令部変革本部の米国連絡官代表

### 飛行経歴

等級：コマンドパイロット

飛行時間：2,700時間以上

飛行機種：T-37、T-1A、C-130E/H、C-12C/J

### 受章した主な章と勲章

国防優秀従軍章

国防功績章

功績章 4回

航空章 4回

航空功労賞 3回

空軍称揚章 3回

空軍功労賞 3回

### 昇進年月日

1998年 6月 8日 少尉

2000年 6月 8日 中尉

2002年 6月 8日 大尉

2008年 3月 1日 少佐

2013年 7月 1日 中佐

2019年 9月 1日 大佐

2021年 7月 現在